

研究課題名	当院における重症再生不良性貧血に対するATG+CsA+EPAG療法による治療経験
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 血液内科 氏名 竹内 厚貴
研究期間	(西暦) 2023年 10月 ~ (西暦) 2024年 3月
研究の意義・目的	重症再生不良性貧血に対して、免疫抑制療法にeltrombopag (EPAG)を加えることの有用性が臨床試験で報告されているが、実臨床での症例数は必ずしも多くなく、症例の蓄積により有効性と安全性を検証する必要がある。
研究の方法 (対象期間含む)	2017年07月から2023年03月に武蔵野赤十字病院血液内科にて重症再生不良性貧血に対してATG+CsA+EPAG療法を施行した症例に関し、奏効率や合併症等について、カルテに記載された診療情報を用いて後方視的に観察研究を実施する。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①本研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しない。使用の際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分に配慮する。研究結果は関係学会での公表を予定しているが、その際は、氏名、生年月日などの直ちに研究対象者を特定できる情報を含まないように留意する。 ②ATG+CsA+EPAG療法を行った患者の年齢、性別、奏効率、奏功までの期間、合併症の有無、等について ③研究代表者および研究分担者 ④武蔵野赤十字病院 血液内科 竹内 厚貴
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 血液内科 氏名 竹内 厚貴 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525